

スプリセル療法

ID
患者名
身長 cm
体重 kg
体表面積 m²
初回 ・ 継続 (前回 /)

印

印

血液内科

慢性骨髄性白血病、急性リンパ性白血病

★投与量

スプリセル錠	100mg/body	計算値	mg	経口投与	分 1	規定なし
	140~180mg/body		mg	経口投与	分 2	規定なし

★ 投与スケジュール…規定なし

次回クール

処方用量

スプリセル錠

mg
(投与日) 1 ~ 規定なし

★ 注意事項

- ・ グリベック抵抗性の慢性期、移行期または急性期例対象(CML)
- ・ 再発・難治性のフィラデルフィア染色体陽性例対象(ALL)
- ・ 慢性期 CML は 100mg/body 分 1、移行期または急性期 CML は 140~180mg/body 分 2、フィラデルフィア染色体陽性 ALL は 140~180mg/body 分 2

[スプリセル]

- ・ QT 間隔延長があらわれることがあるので、心電図検査を実施するなど観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと
- ・ 間質性肺疾患があらわれることがあるので、初期症状(息切れ、呼吸困難、咳嗽、発熱等)の確認及び胸部 X 線検査の実施等、観察を十分に行うこと